

# フクタクエース

発行



(株)フクタク

砕石部

## 続世代交代

小さくても丈夫な体で



7月は、2次クラッシャーを更新しました。従来のクラッシャーは導入から二〇年以上が経過し、大規模な修理が必要となっており、これを機にモーター容量が30%程小さな機種としました。生産量は若干減少しますが、品質は同等です。震災、デフレと厳しい環境の中での設備投資となりましたが、私達は小さくても丈夫な組織を目指しています。

## 夏季休暇

毎年、お盆期間を休暇とさせて頂いておりましたが、今年は夏場の電力需要の削減に少しでも協力できればと考え、お盆休みを13日(土)から21日までの9連休とさせていただきます。

また、当社では通常運転時、最大需要電力量の監視を行っており、目標設定値を越えない稼働を実施しています。

出荷部門、運送部門は17日より対応いたします。皆様のご理解とご協力をお願いします。



当社はこれで節電しています

### 節電

はじめました。



## ハエ取り紙と扇風機



節電しなくては、と思い扇風機を購入した。外気を入れるため窓を開けることになる。窓を開けるとハエが入る。ということでハエ取り紙も買った。

天井からハエ取り紙を下げ、さやさや回っている扇風機を見て思った。これぞローテク！正直ハエ取り紙なんぞ消えてなくなっている物と思っていた。多機能ではなく単機能、ファーストではなくスロー、古い技術だけど生きている技術。立ち止まってみると国内にもそんな製品はたくさんあったんだ。もったいいものをという欲求により技術は進歩する。

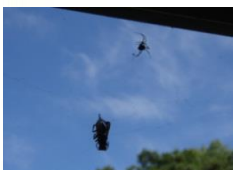
しかし、ローカルでちよいテクくらいの所にも充分存在意義はあるのだ。辛抱強くハエを待つハエ取り紙を見て将来の砕石業の姿を思うのである。

## トイレの窓から見えるもの

自然は弱者に容赦がない。虫なんぞは生まれて生きて子孫を残して、一夏のうちに完結しなければならないので忙しい。トイレの窓の軒下にクモが棲んでいる。きっとこのクモも忙しいに違いない。

しかしクモは悠々としている(ように見える)獲物が来てくれそうな所がかつ安全な場所に巣を張って気長に待つ。それだけである。

『人事尽くして天命を待つ』夏の営みがそんなことを語っているように思える。



## ～現場密度～

舗装は路盤で支えられ、路盤は路床、路体で支えられている。縁の下に力がないと弱い道路になってしまう。合材や路盤材には工業製品として規格があり、所定の品質を作る目安があるが、普通路床、路体は現場発生土を使うので現場ごとの見極めや工夫が必要となる。

先日ある現場の現場密度を測定させていただきました。現場発生土は特に施工距離が長くなると土質や粒度、含水比が変化し、また施工時の気象条件等変動因子が多く施工者の苦勞がしのばれる。

そこで言いたい！砕石をいっぱい使って安心な施工で丈夫な道路を作りましょう。広告になってしまった。

### 【上塗り広告】

基本的土質調査(粒度・密度・含水比等)出来ます。

ご相談ください。



## 熱き心に

ワールドカップ女子サッカーでなでしこジャパンが優勝した、よもや優勝するのは(ゴメンナサイ)思っていなかったのが中継も見ずじまい。あわててダイジェスト版を見てあらためてたいしたものだと思う。『成功の法則＝できるまでやる』という言葉聞いたことがある。できるまでやれば成功するのは当たり前である。普通の人にはできるまでやらないか、できたこととして妥協してしまうのだろう。真剣な所に無心が生まれ無心が逆境を越えるエネルギーになると思う。熱き心に勝利の女神は微笑むのであろう。

### 編集後記

今月号のバックの風景は沖縄の海です。どこかはわかりませんが(笑)お友達からメールにて送られた来ました。例え写真とはいえ見ていると心が洗われる気分がしますよね・・・いつかは行ってみたいな！